



Time X Space



クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2019年9月30日基準

★ラマルクの進化論と 企業イノベーション

進化論といえばダーウインが有名ですが、彼が1859年に「種の起源」を発表するかなり以前に進化論を提唱した人がいました。その人は、フランス人のジャン・バティスト・ラマルク。彼は1809年に「動物の哲学」を発表。当時はまだ天地創造説が信じられており、この地球上の生物はすべて神がそのままの形で創造されたというように、皆が思っていた時代でした。我々が彼の名を知らないのは、その後まだまだ完全でなかった彼の理論の矛盾を指摘されたこともありますが、当時の宗教界を頂点とする支配者階級の人間たちにとって、聖書と矛盾する理論はとて受け入れ難く、まったく評価されなかったことがあると思っただけです。実際、彼はナポレオン一世やそのころの権力者に迫害を受けながら、それでも進化論を提唱し、不遇の一生を送ったようです。

彼が提唱した進化論には、二つの柱がありました。ひとつは「生物は、単純なものから複雑なものへと連続的に進化する」。もう一つが「ある器官をよく使えば発達し使わなければ委縮する。この変化がオスとメスで共通なら、その変化は子供に遺伝する」。特に後者を「用不用説」といい、キリンの首が長いのは、高い枝の葉を食べようといつも首を伸ばしており、そのような生活を何千年も繰り返していたため、と説いたキリンの例で有名です。

私が学校で教わった進化論は、ダーウイン以降の「自然淘汰」や「突然変異」でしたが、そもそも進化が「突然変異」で起こることには疑問を持っていました。例えば「擬態」を考えてみてください。昆虫や動物が葉っぱや木の枝、岩などに化けることですが、はたして単なる偶然におこる「突然変異」でそんなこと実現するのでしょうか。そこには命からがら敵から逃げながら「葉っぱになりたい！」という強烈な意思が何代も何代にもわたってあったように思います。ラマルクのキリンのケースも「もつと首が長ければ！」という願いの歴史があったのでしよう。つまり生物の進化は、生物の強い思いの蓄積がもたらしてきたものだと思うのです。そういう意味でラマルクの進化論の方がしっくりくると思われませんか。



私は企業が進化するメカニズムも同じではないかと思っています。前回の月次レポートで250年間続いてきた大量販売、大量消費時代の終焉についてお話ししました。

が、そういう時代だけに企業も進化すると、イノベーションを起こすことに待ったなしの時代になりました。これを実現するには単に組織の在り方や、経営論を論じるだけでは不可能に思えます。

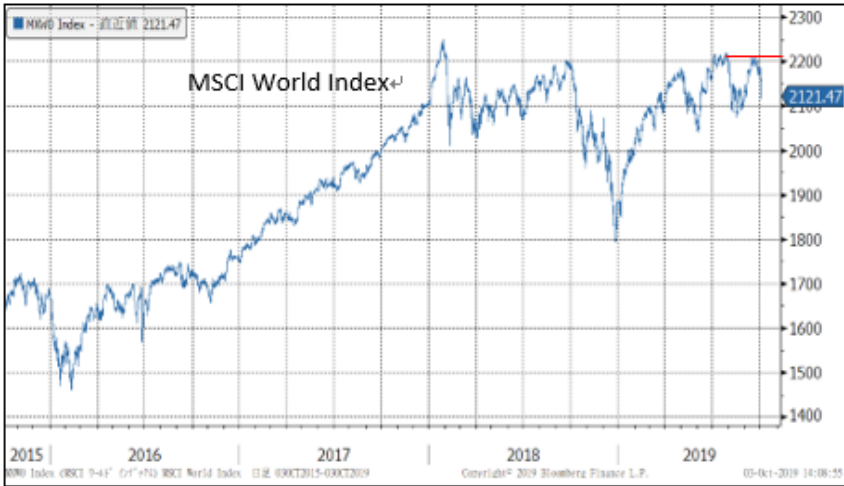
例えばアップルのケースを考えてみましょう。「パソコン」「アイポット」「アイフォン」と、次々に新しい概念の製品をこの世に生み出し、新しい市場を創造し、明らかに世界を変えて来ました。そして、世界中の様々な人々が彼らの成功を分析して来ました。しかし、間違いなくこれらの進化を実現したのは、ステイブ・ジョブズの「世界を変えたい」という強い意思だったというのには皆異論がないでしょう。その絶対条件のような気がします。そのようにみると、今のアップルに以前ほどの精神的エネルギーを感じられなくなったのはちょっと残念な気もしますね。

いづれにしても、長期投資家が求める成長企業にはそんな熱い思いの経営者や社員が不可欠です。その思いは我々が手にする商品やサービス、あるいは広告などにも潜んでいるはず。あるいはオーラが出てくるかもしれない。日々の生活の中で、感度を研ぎ澄ませながら、そんな起業家たちのエネルギーを感じて、これからの成長企業を見つけるのも楽しいですね。

多根幹雄



予想通りFRBとECBは利下げをし、金や国債などの安全資産から、よりリスクの高い資産への資金の流れを作り出してきた市場参加者に、安心感をもたらしました。これによって、市場ではより格付けの低い（高利回り）債券の需要が高まり、米国10年債利回りは1.5%を下回る水準から一時1.9%まで急上昇しました。こうした安心感は、ドイツ経済の弱みやOECDが世界経済成長見通しを再度下方修正し、成長率見通しを3%以下に引き下げること、世界経済を巡る悪材料が聞かれる中でも資金がリスク資産に戻ってきている背景の一つです。

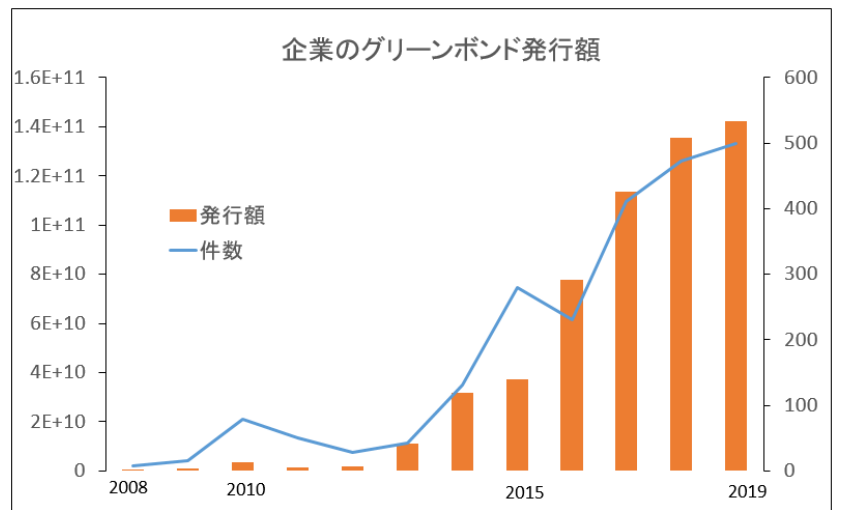


こうした中、誰もが十分な資金流動性があると考えてきた米国で、いくつかの異なるイベントが重なったことで、資金需要が逼迫し超短期債利回りが押し上げられるという事象が起こりました。一時、利回りがあまりに急上昇したため、FRBは過去10年間使われることがなかったレポ市場を通じた資金供給を、行わざるを得ませんでした。言うまでもなく、資金調達に絡んだ問題は金融市場に大きな影響を及ぼします。

また、法律軽視の英首相と膠着状態のブレグジットに加え、米大統領領に対する弾劾手続きの開始といった事柄も市場にとっての阻害要因です。市場の不確実性を増幅させます。今のところ成功したとは言えないまでも、株式市場を直近高値に再度押し上げようとする投資家の心理にも影響を与えるでしょう。

一方、世界経済成長と地球温暖化の問題に目を転じると、国連の機関が発表した気候変動に関するレポートと、それに関連したLVHM会長のアルノー氏の批判的なコメントは、世界が直面するジレンマを表していると言えるでしょう。地球温暖化はとて深刻な問題です。もしも人類が生き残りたければ、企業だけでなく全世界が社会的、生態学的影響を融合させて、一つの問題として取り組む必要があるということです。以前にもまして明らかになっています。我々が生活の質を落とし、温暖化に対して適切な行動を起こす用意がなければ、温暖化を巡る生態学的問題は少なくとも中期的にくすぶり続けるでしょう。もちろん、最終的には技術の発展がこのジレンマを部分的に解決してくれるでしょうが、それでも何らかの行動をとる必要があります。

最近では投資家もこのような問題に対してより責任を負うようになってきています。具体的にはESGに準拠している企業なら株式や債権にプレミアムを支払うことで会社の努力に報いるというものです。グリーンボンドもその一例です。グリーンボンドとは環境に関連した用途のために発行する債券をいい、債券の発行者の



間でもこのような債券が市場での認知を得てトレンドになりつつあり、それは同債券の発行額の推移を見ても明らかです。

投資家は“良い”企業の債券には値を付けるが、特に年金などのいわゆる機関投資家はこういった問題への認識が甘い企業を敬遠するようになってきています。とはいっても、京都議定書やパリ協定など数年前に政府によって定められた目標を達成するためにしても環境の変化の速度があまりに早すぎるため、投資家もしつかりとこの問題についての経過観察を行う必要があるでしょう。

樋口恭信



★マーケットコメント

9月初めに米国の中国に対する追加関税が発動されたものの、米中間で「10月から貿易協議を再開する」ことで調整が付き、中国が外国投資家の中国の株式や債券への投資に制限をなくす、また米国への報復関税から16品目を除外すると発表、トランプ大統領も2500億ドル分の中国製品への制裁関税拡大を10月15日に先送りを決め、中国との暫定合意も検討する、との発表もありました。

米中の急速な融和ムードに、米国株式市場は一気に上昇を見せましたが、FOMCの利下げ発表も予想以上のモノではなく、中旬からは上値の重い展開となりました。

日本株式市場も、前半は大きく上昇しましたが、後半は伸びが鈍化したものの円高傾向にもかかわらず、米国ほど大きく下げることはありませんでした。特に、前半の伸び率は日経平均よりもTOPIXのほうが大きい状況でした。8月に大きく売られていたということでしょうか。

10月は、日本の消費増税、中旬以降、米中貿易協議、ブレグジットなどのイベントがあり相場も大きく変動する可能性もありますが、イベントに惑わされず慎重に運用していきたいと思えます。



磯野昌彦

★ファンド仲間から

クローバーさんとの出会いは、今年春ごろから、東京であった社長塾セミナー（全6回）で押谷先生が4回目に講演され「貴方達は、社長さんですから、ワーカー目線の株の売買は止めなさい、時間を味方につけた長期運用をやられた方が、良い」と、一刀両断に、語られたことがとても強く印象に残りまして、帰阪してから、押谷先生の著書とか、勉強会はないかなあーと、ネットで探し始めたことでした。なんと6月8日13時から大阪パリティキにて開催という案内にヒットしました。それも無料で「本当かなあー、社長セミナーで高額の費用を収めたのに。でもラッキー俺はツイてる！」と早速申し込み参加しました。

初めてのクローバーセミナー当日、磯野専務に気軽に声を掛けて頂き、押谷先生を紹介してもらいました。又、本の紹介も頂き、帰りに購入し読みました。併せて多根社長の著書『あいのり投資』も熟読したのも、きっかけとなり、押谷先生の長期運用をすべて吸収し学ぼうと強く決心し、東京の京橋のセミナーとか、大阪尼崎とか頻繁に参加しています。

クローバーさんの多根社長、磯野専務、田子部長、森さん、岡本さん等とも、お近づきになれ、有難いなあーと思っております。又、社員の方全員がファンドを購入されており、皆様誠実で心が温かく、優しい人柄なのでここは本物だと、確信し運用をはじめました。

私も株の売買は10年〜15年の経験はありますが、ニュースに惑わされ、成績は良くなかったです。

クローバーさんに出会い、とても良かったと感謝の念で一杯です。又、今後、押谷先生の運用方法も1〜10迄教えていただき、ひとつずつ、物にして行こうと思っています。これから、セミナーをズーッと継続して下さい。

先日、セミナーにて、押谷先生が自腹で教示されていることを知り、改めて凄いなあーと感心しました。私も、子供や孫に、今から長期運用をやり乍らお金の不安を少しでも取り除き、自分達の才能を伸ばし、人に役立つ人間になつて欲しいと願っています。

クローバーさんと押谷先生に出会えたチャンスに感謝しながら今後もセミナーに参加し学んでいきます。又、一人でも、多くの方にクローバーさんとの出会いが増えますように、友人、知人に声を掛けて参ります。ありがとうございます。

井坂博英



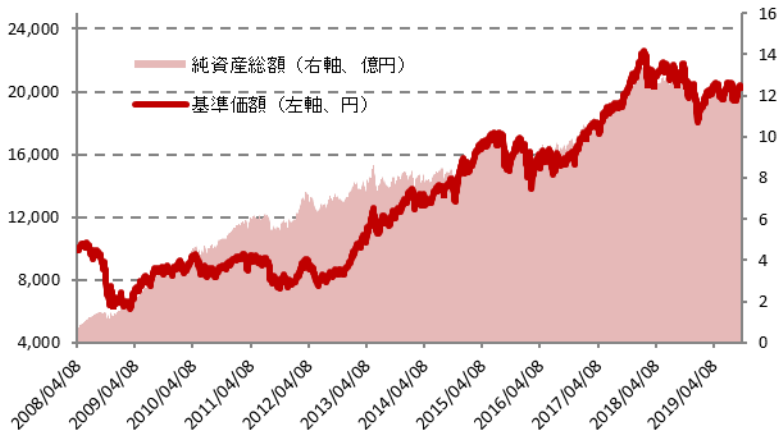
【9月の運用コメント】

堅調であったコムジェスト・グロースワールド、同ヨーロッパはさえなかったものの、さわかみファンドと7月に組み入れたカーディフ・ジャパンアルファが大きく値を上げたため、基準価額は前月比+3.65%となりました。9月の上昇は、おおむね日本の割安大型株が値を上げたことによるものです。今後も相場の突発的な動きに惑わされず、慎重に運用してゆきたいと思えます。

【9月の運用コメント】

ユキ・ファンドは割安株の見直し状況に十分ついていけませんでした。アトランティス、SBIジェイリバイブ、同ネクストが大きく貢献し、前月比+4.62%とまずまずの成績になりました。9月の上昇は、おおむね日本の割安大型株が値を上げたことによるものです。今後も相場の突発的な動きに惑わされず、慎重に運用してゆきたいと思えます。

基準価額と純資産総額の推移



基準価額と純資産総額の推移



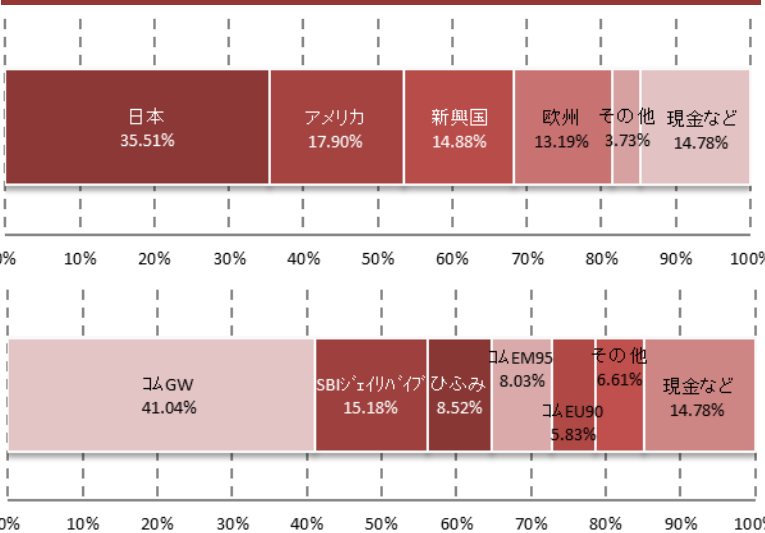
浪花おふくろファンド概況

| | | | |
|-------|-----------|---------------|--------|
| 基準価額 | 20,277円 | 信託期間 | 無期限 |
| 純資産総額 | 1,237百万円 | 決算日 | 毎年3月3日 |
| 設定日 | 2008年4月8日 | (休業日の場合は翌営業日) | |

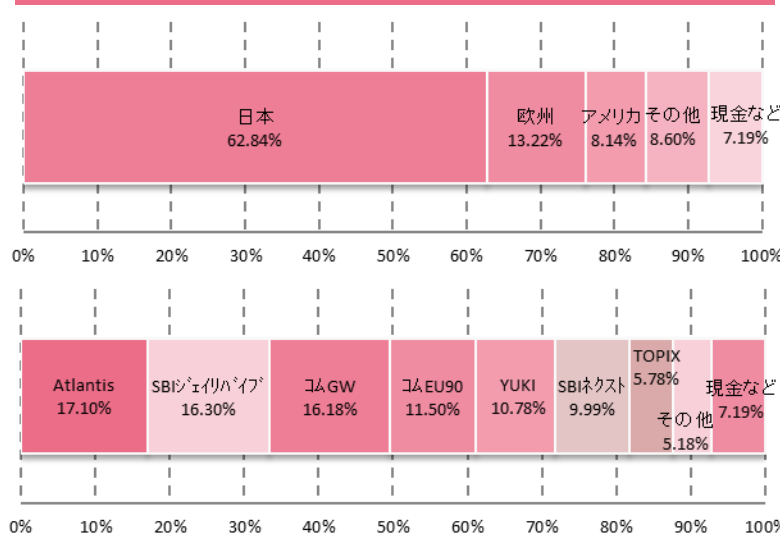
コドモファンド概況

| | | | |
|-------|------------|---------------|---------|
| 基準価額 | 17,353円 | 信託期間 | 無期限 |
| 純資産総額 | 7,378百万円 | 決算日 | 毎年2月25日 |
| 設定日 | 2013年4月15日 | (休業日の場合は翌営業日) | |

資産構成比率(組入ファンド全7本)(上段:国別、下段:ファンド別)



資産構成比率(組入ファンド全12本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

| 1カ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|-------|-------|-------|--------|---------|---------|
| 3.65% | 0.89% | 1.51% | -6.36% | 28.12% | 102.77% |
| | | | | (複利年率) | (複利年率) |
| | | | | (8.61%) | (6.35%) |

期間別騰落率(%)

| 1カ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|-------|-------|-------|--------|----------|---------|
| 4.62% | 2.08% | 2.03% | -7.67% | 33.12% | 73.53% |
| | | | | (複利年率) | (複利年率) |
| | | | | (10.00%) | (8.90%) |

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬) 年率0.972%(税抜き0.9%)
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.25%(税込/概算)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬) 年率1.08%(税抜き1.0%)
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.7±0.4%(税込/概算)

コドモファンド及び浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

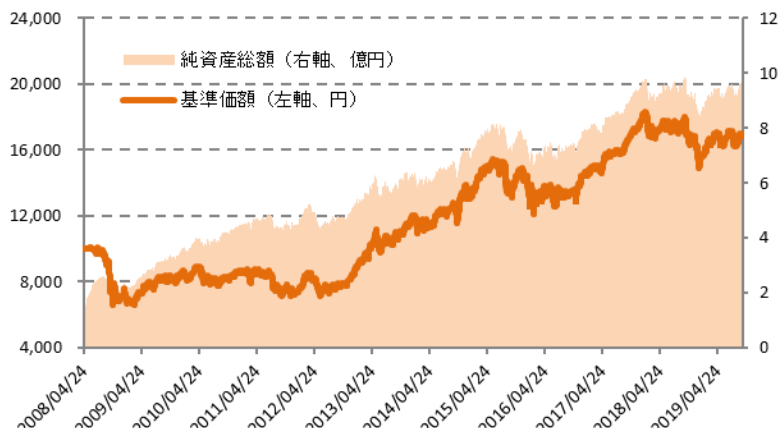
信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号
※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

【9月の運用コメント】

堅調であったコムジェスト・グロースワールド、同ヨーロッパはさえないものの、さわみファンドが大きく値を上げたこともあり、基準価額は、前月比+3.04%となりました。9月の上昇は、おおむね日本の割安大型株が値を上げたことによるものです。
今後も相場の突発的な動きに惑わされず、慎重に運用してゆきたいと思えます。

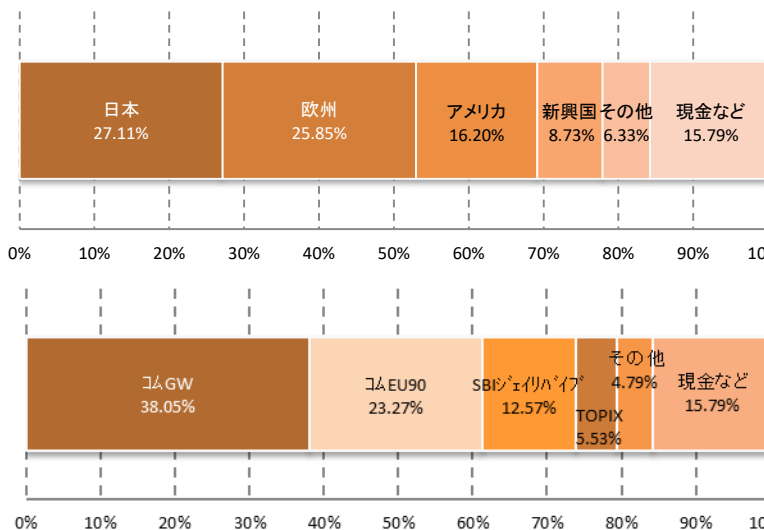
基準価額と純資産総額の推移



らくちんファンド概況

| | | | |
|-------|------------|---------------|---------|
| 基準価額 | 16,925円 | 信託期間 | 無期限 |
| 純資産総額 | 958百万円 | 決算日 | 毎年2月25日 |
| 設定日 | 2008年4月24日 | (休業日の場合は翌営業日) | |

資産構成比率(組入ファンド全7本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

| 1カ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|----------------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 3.04% | 0.80% | 1.94% | -5.48% | 26.15% | 69.25% |
| (複利年率) (複利年率) (8.05%) (4.71%) | | | | | |

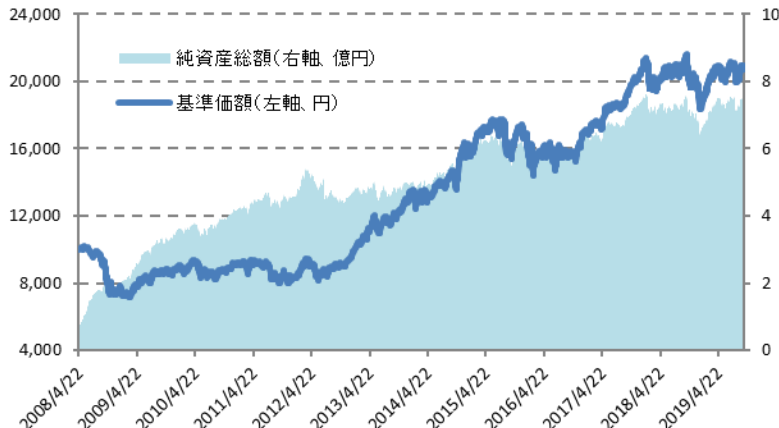
ファンドにかかわる費用

| | |
|------------------|---|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 年率0.972%(税抜き0.90%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.55±0.2%(税込/概算) |
|------------------|---|

【9月の運用コメント】

日本の割安大型株が大きく値を上げる一方、堅調であったコムジェスト・グロースワールド、同ヨーロッパなど海外株がさえず、基準価額は、前月比+2.81%となりました。
今後も相場の突発的な動きに惑わされず、慎重に運用してゆきたいと思えます。

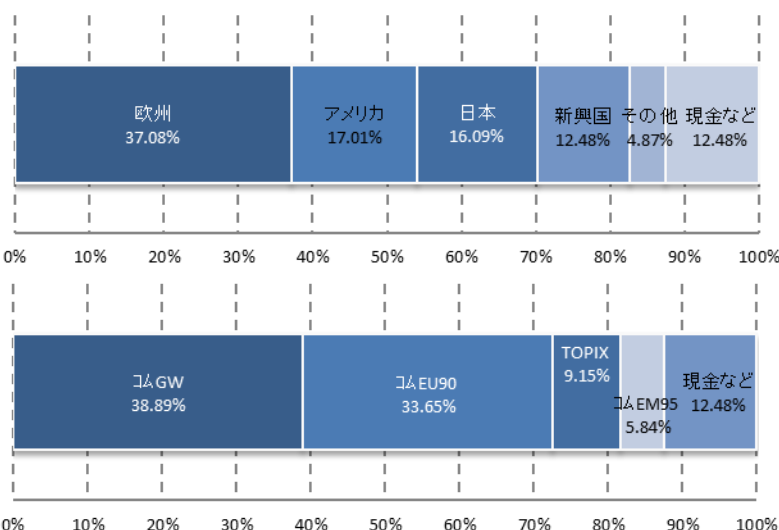
基準価額と純資産総額の推移



かいたくファンド概況

| | | | |
|-------|------------|---------------|---------|
| 基準価額 | 20,780円 | 信託期間 | 無期限 |
| 純資産総額 | 745百万円 | 決算日 | 毎年2月25日 |
| 設定日 | 2008年4月22日 | (休業日の場合は翌営業日) | |

資産構成比率(組入ファンド全4本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

| 1カ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|----------------------------------|-------|-------|--------|--------|---------|
| 2.81% | 0.53% | 1.91% | -3.24% | 32.51% | 107.80% |
| (複利年率) (複利年率) (9.84%) (6.60%) | | | | | |

ファンドにかかわる費用

| | |
|------------------|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 年率0.756%(税抜き0.70%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.4±0.2%(税込/概算) |
|------------------|--|

かいたくファンド及びらくちんファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。監査費用、信託事務の処理に要する諸費用等は、純資産総額の年0.11%(税抜0.10%)を上限として信託財産から支払うことができます。



クローバー・フェイスブックから

2019年9月20日・21日

★長期投資セミナー 京橋&アメリカ村

『成長企業への投資プロセスPart5』

押谷さんの登場です。夏休みの補講を終え10回コースの後半戦に入りました。10回目くらいには、参加者の皆さんに、これほど思う企業を選んでいただいていた実際に株を買ってみるなんてこともしてみたいですね、という話。講義もますます熱が入ってきました。



S & P 500は、2006年から2019年3月まで配当利回りは2%のまま、PERは2013年までが15倍、以降が17.5倍と安定的に推移しています。この間、リーマンショック、ギリシャ危機、米国債評価引き下げ、スイスでのマイナス金利、直近の昨

年末納品金融緩和の終了不安による大幅な相場の下落などは

結局ノイズに過ぎず個別企業の予想損益計算書、予想貸借対照表をもとにした長期投資が結局は大きな利益を生み出すことになりません。京橋でも、大阪アメリカ村でも熱く盛り上がりました。

2019年10月2日

★長期投資セミナー 大阪中央公会堂

『ビギナーのためのお金のレッスン』

「世界の今とお金の話」岩本沙弓氏にご講演いただきました。この場所は、2015年6月にクローバー運用開始10周年・コードモファンド3周年の記念イベントを開催した懐かしい会場。また、おふくろファンド時代もたびたび使っていたので、古くからのファンド仲間には思い出の場所ですね。

今回からスタートのこのセミナーシリーズは、投資初心者にも、これから生きていくために必要な金融の知識を学んでいただくという趣旨で始めました。第一回の講師は、岩本沙弓さん。16年もの長きにわたり、外資系金融機関で為替ディーラーとして活躍後、経済評論家として研究、講演、執筆活動をされています。当社関連の三城HDの社外取締



役でもあり、クローバーの活動を応援していただけることになりました。

為替ディーラーという大変厳しい実務の経験に裏打ちされたお話は、皆さんに強烈な刺激となったようです。『9・11米国で起こった同時多発テロの直前に中東の投資家から大規模なドル売りがあり、直感で危険を感じてドルを売ったら、その後大惨事になった。天災は、予測できないが、テロなどの人災は必ず予兆がどこかに出ている』なんて話は、あまりにも生々しかったですね。

後半は「あいのり投資」について多根社長の話。今までの金融の専門家の話とは全く違う視点で「目からウロコ」という方も多かったようです。皆さん、お知り合い、お友達もつれてのご来場ありがとうございました。



★我が家の

“初”キャンプ体験記



この度、姉家族のキャンプ道具を一式譲り受け、九十九里の浜辺にほど近いキャンプ場で一泊のテントキャンプに挑戦しました。あまりの荷物の多さに、SUV車の後部座席を一部折りたたんでも積み込めず、座席の足元にも荷物を押し込み、いざキャンプ場へ。テントの設置は思いのほか簡単で、1時間ほどでテント、キッチン、焚火台、ガスランプなどの組み立てが完了。今回は初挑戦ということもあり、夕食はダッチオーブンで作るパパ特製のチキンの丸焼きとケールのサラダ、途中で購入した九十九里産のハマグリと至ってシンプルです。



チキンをダッチオーブんに投入し、本のレシピを参考に2時間を目安に火にかけたところ、1時間ほどでローストされた香ばしい匂いと、わずかな焦げ臭が……。案の定、火が強すぎてチキンの下に敷いた野菜が真っ黒に焦げてしまいました。ただ、そんなこともあるかと、私はちゃっかりローストポークも用意。なんととってもキャンプの目玉は夕食ですから、準備に抜かりはありません。少し焦げ臭いチキンとローストポークで夕食を堪能し終わった頃にはとつぷりと日が暮れて、夜空には真ん丸な月が浮かんでいました。時は9月14日。日中の小雨にもかかわらず、月が出るころにはすっかり晴れて、中秋の月を愛でるにはもってこいの雲一つない夜空でした。

夕食後は月の明かりを頼りに浜辺に散歩に出かけました。光源が全くない浜辺でしたが、隣に腰かけた子供たちの表情までもがはっきりと見て取れるほどの月の明るさに、思わず感動を覚えました。電



焚火を囲んでくつろいだ後は、テントの中で就寝。意外にも寝心地が良く、朝までぐっすりとお眠ることができました。と言いたいところですが、真夜中に頭の上から「モー、モー」とウシガエルが鳴くではありませんか。とんでもないところにカエルがやってきたもんだと、(ここは勇気を出して追っ払うべきか)、(いや、待てばきっと鳴きやむに違いない)と寝袋の中でうつらうつらしていると、どうも鳴き声が不規則で、さらにじつと耳を傾けてみると、なんとお隣さんのいびきではありませんか!人のいびきとあつては追っ払うこともできず、結局寝不足のまま朝を迎えました。その後、我が家ではこの出来事を「ウシガエル事件」と命名。初キャンプの愛しい思い出の一つになりました(泣)。



今回のキャンプは初めてにしては上出来で、皆大満足でした。さっそく次のキャンプの話が出るほどです。キャンプが我が家の新たなアウトドアの選択肢に加わったことで、これから楽しみが増えそうです。

アナリスト★韓栄淑

“クローバー運用報告会 2019 秋”

10月18日(金) 三城ホールディングス 会議室
18:30~20:45 港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング10F

10月19日(土) パリミキ アメリカ村店2Fサロン
13:00~15:00 大阪市中央区西心斎橋2-10-30

定員30名
無料
(交流会参加費
東京 1,000円
大阪 2,000円)
定員35名

多根 幹雄(当社代表取締役社長)
磯野 昌彦(当社専務取締役)



『将来のための“はじめの一步”』“京橋から、お先に失礼!!”【Radical Investment!!】

10月25日(金) 当社 会議室
18:30~20:00 東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3F

無料
定員5名

田子 慶紀(当社取締役業務管理部長)



『ぶらっと銀座で学ぼう会』“やってみなくちゃわからないこと”

10月29日(火) 当社 会議室
14:30~16:30 東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3F

無料
先着6名

森田久美子 氏
(CFP、
1級ファイナンシャルプランニング技能士)



『日本企業を通じた世界への投資』

11月7日(木) パリミキ アメリカ村店2Fサロン
18:00~20:00 大阪市中央区西心斎橋2-10-30

無料
(交流会は
ありません)
定員35名

リチャード・ケイ 氏
(コムジェスト・アセットマネジメント
アナリスト兼ポートフォリオアドバイザー)



“たねころ山農園ツアー 2019 秋”

11月30日(土) 伊豆たねころ山農園
11:00~15:45 静岡県伊東市宇佐美

参加費
3,000円
定員45名

ご興味のある方は、
お問い合わせください。
担当 磯野まで



ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

クローバーから大切なお知らせ

【「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」の発送について】

取引残高報告書(定期交付)・「ご投資状況のお知らせ」を送付・電子交付しました。
「取引残高報告書(定期交付)」は四半期毎に作成され、その期間のお取引を記したものです。
今回は2019年7月~9月末までにお取引(売買等)があったお客様および期間中にお取引がなくても残高がある場合には、最後のお取引から1年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、 **11月5日(火)**
11月分金額変更・中止・再開締切日・・・**10月21日(月)**
12月分新規・口座変更締切日・・・**10月31日(木)**
*毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

ヴァンテージになれるかもツアー3 奥出雲



11月3日(日)~4日(月・振替休日)
奥出雲多根自然博物館
参加費30,000円
定員40名
ご興味のある方は、お問い合わせください。
担当 磯野・森

クローバー・アセットマネジメント株式会社
(受付時間: 平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル: 0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp